

2019年10月29日

各 位

会社名 アサヒホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 東浦 知哉
(コード番号 5857 東証第1部)
問合せ先責任者 企画部長 長合 邦彦
(TEL 03-6270-1833)

業績予想の修正およびセグメント変更に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2019年5月8日に公表いたしました2020年3月期通期(2019年4月1日～2020年3月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、事業セグメントについて下記の通り変更いたします。

記

1. 通期(2019年4月1日～2020年3月31日)連結業績予想の修正

(単位:百万円、%)

| | 売上収益 | 営業利益 | 税引前利益 | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | 基本的1株当たり 当期利益 |
|--|---------|--------|--------|----------------------|------------------|
| 前回発表予想(A) (2019年5月8日発表) | 140,000 | 14,500 | 14,300 | 9,400 | 円 銭 238 89 |
| 今回修正予想(B) | 135,000 | 19,000 | 16,800 | 10,200 | 259 22 |
| 増減額(B-A) | △5,000 | 4,500 | 2,500 | 800 | — |
| 増減率 | △3.6 | 31.0 | 17.5 | 8.5 | — |
| (ご参考-1) 前期実績 (2019年3月期) | 128,669 | 14,478 | 13,405 | 9,000 | 228 14 |
| (ご参考-2) フジ医療器の連結を継続する場合 (2020年3月期) | 155,000 | 19,900 | 17,700 | 11,600 | 292 26 |

(注) 本日別途開示しておりますが、フジ医療器の持分譲渡が実現されなかった場合の2020年3月期の通期連結業績予想の数値は(ご参考-2)の通りとなる見込みです。詳細は、後記「2. 業績予想修正の理由」をご覧ください。

2. 業績予想修正の理由

貴金属価格が期初の想定を上回って推移していることに加え、国内の貴金属リサイクルの回収量が期初の計画を上回る見込みであることなどを考慮し、通期の業績予想を修正いたしました。

今回修正予想において、営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益はいずれも過去最高となる見込みです。

当社は本日付で、当社連結子会社である株式会社フジ医療器(以下「フジ医療器」)の持分譲渡に関する基本合意書を

締結し、フジ医療器は2020年3月期第3四半期から非継続事業として分類され、2020年3月期第4四半期には連結子会社から外れる見込みであります。詳細につきましては、本日別途公表しております「連結子会社の持分譲渡(子会社の異動)に関する基本合意書締結のお知らせ」に記載のとおりです。

なお、フジ医療器の持分譲渡が実現されなかった場合には、今回修正予想の数値に売上収益約200億円、営業利益約9億円、税引前利益約9億円、親会社の所有者に帰属する当期利益約14億円がさらに加算されます。その場合の業績予想の数値は(ご参考-2)の通りとなる見込みです。

3. セグメント変更について

これまで当社は「貴金属事業」「環境保全事業」「ライフ&ヘルス事業」の3つを報告セグメントとしておりました。「ライフ&ヘルス事業」セグメントの中核であるフジ医療器が予定通り持分法適用会社へ移行した場合は、2020年3月期第3四半期より「貴金属事業」および「環境保全事業」の2つを報告セグメントといたします。既に公表しておりますとおり、「ライフ&ヘルス事業」セグメントに属していた紘永工業株式会社は本年8月1日に売却いたしました。

また、株式会社インターセントラルは「ライフ&ヘルス事業」セグメントから「環境保全事業」セグメントへ移行し、空調設備の開発・施工等を通して省エネルギー社会の実現に貢献して参ります。

以上